

外国人材の受入れに関する円卓会議
公開シンポジウム
パネル・ディスカッション

「日本社会が選ばれるためにー外国人のライフプラン」

コロナ禍における
外国人の困難とセーフティネット
～露呈した脆弱性～

国士舘大学教授
NPO法人 移住者と連帯する全国ネットワーク副代表理事
鈴木 江理子



1

JOINT PRESS RELEASE

3 GOOD HEALTH AND WELL-BEING

移民、難民、無国籍者の権利と健康は、コロナ対応において保護されなければならない
(20/03/31)

2

TACKLING CORONAVIRUS (COVID-19):
CONTRIBUTING TO A GLOBAL EFFORT

oecd.org/coronavirus

What is the impact of the COVID-19 pandemic on immigrants and their children?

19 October 2020

Both the experience from previous economic crises and first indications on labour market and social outcomes during the current pandemic suggest that the COVID-19 crisis is likely to have a disproportionate impact on immigrants and their children. This policy brief provides first evidence on how the pandemic has affected immigrants and their children in terms of health, jobs, education, language training and other integration measures, and public opinion, and describes host countries' policy responses. It complements a previous brief on the impact of the pandemic on migration management (OECD, 2020[1]).

健康面に加えて、雇用や教育などにおいても、移民とその子どもたちが、自国生まれと比べて不利な影響を受けている

(20/10/19)

3

＜コロナ禍で外国人が直面した問題＞

国籍と在留資格による制約

雇用への打撃

- 生活困窮、時に住居の喪失

学ぶことの困難

- 休校要請下の子ども（教科学習、日本語）
- オンライン対応

国籍と国境の壁

- 上陸拒否により再入国できない

セーフティネットの壁 ← 本報告ではここに注目

- 制度的不平等：受給対象ではない
- 実質的不平等：情報が届かない、自治体での対応格差、母語ではない日本語での申請 etc.

4

<セーフティネットの壁>

制度的不平等：受給対象ではない

実質的不平等：情報が届かない、自治体での差別的運用、
母語ではない日本語での申請 etc.

雇用関係のセーフティネット

- 失業手当、休業手当、（コロナ対応）休業支援金

生活困窮者向けのセーフティネット

- 生活保護
- 生活福祉資金制度の緊急小口資金と総合支援基金
- 生活困窮者自立支援制度の住居確保給付金と一時生活支援事業

学生支援緊急給付金

- 20年度：留学生に対する成績等要件、留学生以外の学生に対する既存の奨学金受給要件
- 21年度：既存の奨学金受給要件

5

<課題>

セーフティネット（公助）へのアクセス

- セーフティネットへのアクセスは「選ばれる／日本社会にいてよかった思える」ための重要な要素！
- 制度的・実質的平等の拡大

特例措置による「自助」の奨励

- 解消されない雇用差別・就職差別
- 仕事が見つからない
- 「特定技能」への誘導は、外国人本人のキャリアデザインとして適切か？

「弱者」にしない平時の取組み

- 日本語や体系的な技能習得のための支援
- 多様な言語や文化習慣をもつ人々が共に働き、学び、暮らすための環境整備
- 差別禁止法の制定など差別をなくすための取組み

6